

種類別明細書(増加資産用)の記載例

申告年度を記入して下さい。

資産の数量を記入して下さい。  
同じ資産でも取得年月が異なるものは、分けて記入して下さい。

増加する資産について、1~4のいずれかに○をつけてください。  
1...新品取得  
2...中古品取得  
3...移動による受入れ  
4...その他

記載する必要はありません。

種類別明細書(増加資産・全資産用)

資産の種類に応じて、1~6の数字を記入して下さい。  
1...構築物  
2...機械及び装置  
3...船舶  
4...航空機  
5...車輛及び運搬具  
6...工具器具及び備品

資産の取得年月を記入して下さい。また、年号は以下の対応する数字をご記入下さい。  
1...明治  
2...大正  
3...昭和  
4...平成  
5...令和

取得価額を記入して下さい。

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1、第2等」に掲げる耐用年数を記入して下さい。

償却資産申告書(償却資産課税台帳)の(ハ)合計額に一致します。

※		所有者コード		令和 XX 年度		所有者名										1		枚のうち			
						大和高田税務プラスチック株式会社										1		枚			
行番号	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (イ)				耐用年数	(ロ) 減価残存率	価額 (ハ)				※課税標準の特例率	※課税標準コード	課税標準額	増加事由	摘要
				年号	年	月	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円					
01	1	アスファルト舗装	1	4	28	2	2	000	000	10	0.									○・2 3・4	
02	2	太陽光発電設備	1	4	29	3	8	000	000	17	0.									○・2 3・4	
03	5	フォークリフト	1	4	27	5	1	200	000	4	0.									1・2 ○・4	R2.4 奈良市から移動
04	6	エアコン	1	4	28	6	160	000	6	0.										○・2 3・4	
05	6	パソコン	6	4	30	8	1	080	000	5	0.									○・2 3・4	
06	6	応接セット	1	5	2	11	340	000	8	0.										○・2 3・4	
07										0.										1・2 3・4	
08										0.										1・2 3・4	
09										0.										1・2 3・4	
10										0.										1・2 3・4	
11										0.										1・2 3・4	
12										0.										1・2 3・4	
13										0.										1・2 3・4	
14										0.										1・2 3・4	
15										0.										1・2 3・4	
16										0.										1・2 3・4	
17										0.										1・2 3・4	
18										0.										1・2 3・4	
19										0.										1・2 3・4	
20										0.										1・2 3・4	
小計							12	780	000												

一般(細目)方式で申告される場合は、着色部分は記入する必要はありません。  
電算(合計)申告で申告される方は、ご記入下さい。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印をつけてください。

第二十六号様式別表一